

理数科数学班の課題研究が、「数学セミナー 日本評論社」に掲載されました。

現3年生理数科の4名が、2年生の時に「課題研究」の時間を使って実施した数学の研究「桂馬飛びを拡張した移動に関する考察」が今年の数学セミナー11月号NOTEのコーナーに取り上げられました。本研究は島根県の理数科代表として、今年8月に佐賀県で開催された中国・四国・九州地区理数科課題研究発表大会（佐賀大会）でも発表しています（発表タイトルは「寺本桂問題」）。

投稿原稿の作成は、今年6月末の締め切りに間に合うように県総体や佐賀大会の準備と平行してすすめてきました。大変でしたが、課題研究で取り組んだことが、実績として残る結果につながったことに大変よろこんでいます。